

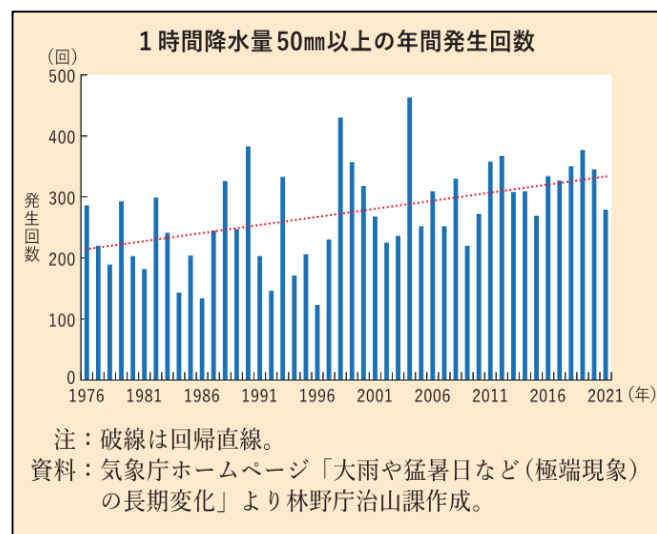
山地災害の未然防止について

北海道森林管理局は、山地災害危険地区等の緊要度の高いエリアにおける森林の防災機能を発揮させる治山施設の整備を推進します

計画保全部治山課

【近年の気候変動と山地災害】

近年の気候変動によって、降水形態が変化し、山地災害を誘発するような降水が全国各地で発生しています。気象庁のデータによると、1時間降水量50mm以上の短時間強雨の平均年間発生回数は年々増加しており、線状降水帯の発生も伴い、山地災害は広域で同時多発的に発生するケースが頻発しています。



【山地災害における対策】

このような気候変動に対処するため、林野庁では、山腹の崩壊と崩壊土砂の流出、地すべりなどにより、人家や公共施設等に直接被害を与えるおそれがある地区の調査を行い、山地災害危険地区に指定しています。

また、関係機関と連携した巡視・点検を徹底するとともに、関係市町村を通じて、これら危険箇所の住民等への周知等を行うこととしています。

北海道森林管理局においては、緊要度の高い山地災害危険地区を主体に豪雨・地すべり・流木等による被害を最小限にとどめ、地域の安全性を向上させる治山事業を実施しています。

令和5年度における山地災害危険地区で実施した主な治山事業は次のとおりです。



もしりにさわ 1. 茂志利二の沢治山工事

- 実施署 上川北部森林管理署
- 場 所 しべつしあさひちょうもしり 士別市朝日町茂志利
- 判 定 崩壊土砂流出危険地区 A
- 工事概要 治山ダム及び流木捕捉工
- 工事目的

当該箇所は、士別市の南西部に位置する一級河川天塩川の支流で過去の降雨等で大きな被害は受けてはいませんが、下流域には民家や道道などがあり、豪雨が発生するとこれらの施設に被害を与える恐れがあることから、土砂とともに流下する流木を捕捉する流木捕捉工を設置して土砂流出及び流木を予防し、被害防止を図りました。



施工中 流木捕捉工の基礎部分を建設

(茂志利二の沢)



施工前 豪雨により崩壊した山腹の状況

(登別温泉地区)



施工後 治山ダム(手前)と流木捕捉工(奥)

(茂志利二の沢)



施工後 自然景観に配慮した山腹工

(登別温泉地区)

2. 登別温泉地区治山工事

- 実施署 後志森林管理署
- 場 所 登別市登別温泉町
- 判 定 急傾斜地崩壊危険地区 A
- 工事概要 山腹工 5.39ヘクタール
- 工事目的

当該箇所は、北海道有数の観光地である登別市温泉街の宿泊施設の裏にあり、一帯の山腹斜面は、急傾斜地崩壊危険地区に指定されていて、土砂災害の危険が高い地区です。平成28年8月に北海道へ上陸した台風災害により山腹崩壊が発生し、下流部に土砂が流出する被害がありました。

復旧工事を行うに当たり、施工地が支笏洞爺国立公園内にあることから、特に景観に配慮した施工内容として、樹木の伐採を伴わない山腹工を計画し、防災機能の向上と自然景観の保全を図るとともに、地域住民と観光客の安全と安心を確保しています。



保全対象である登別市温泉町の旅館ホテル街

【山地災害対策の推進について】

山地災害危険地区は、令和6年度より再点検を実施し、令和8年度には関係機関等に通知するとともに局ホームページにおいて公表することとしています。

今後も関係機関と連携して、地域における山地災害による被害を防止・軽減する対策を推進して参ります。